

新しい開発現場への適応支援 ～AIエージェントによる教育システム～

富士通 (株)
 (株)日本総合研究所

小坂 亮太
 成田 裕一郎

キャノン (株)
 (株)東芝

土屋 直生
 深澤 佑樹

システム開発の現場と課題

アジャイルやDevOpsの導入でチーム構成が小規模化し、その結果プロジェクト間における人材の流動性が高まった

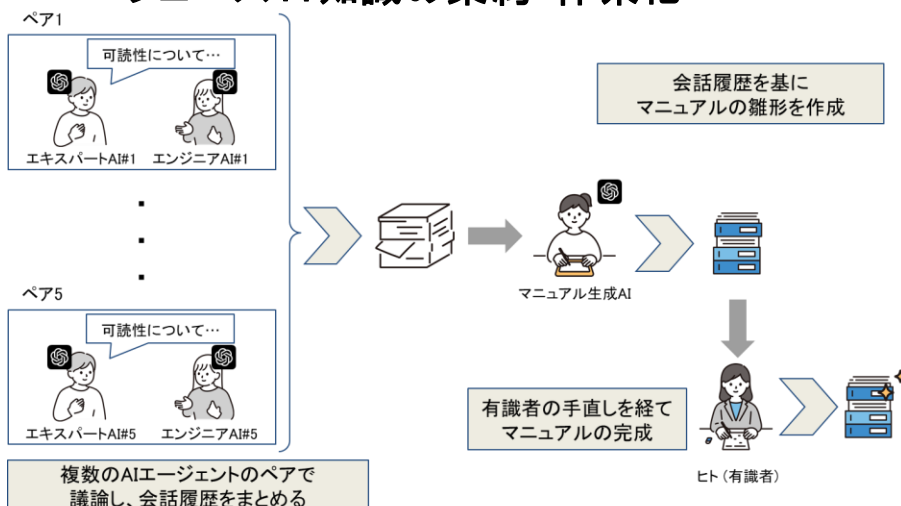
一方、メンバの移動には様々な課題が発生
 業務や新たな技術・ツールへの
メンバの知識不足にフォーカス

解決手法の提案

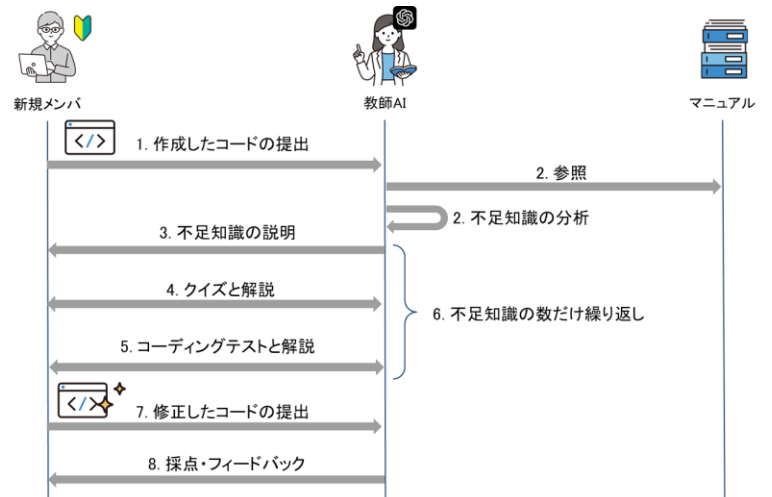
新規メンバへの教育に必要な
「知識の集約・体系化」と「指導」を
 AIエージェントを活用することで
 代替できないかを検証する

AIエージェントを用いた教育システム

フェーズ1: 知識の集約・体系化



フェーズ2: 指導



2つのフェーズを持つ教育システムを考案

結果

指導前	指導後	評価項目	指導数
40点	93点 (↑)	マニュアルに沿っていると感じた	14
20点	85点 (↑)	マニュアルに沿っていないと感じた	6
45点	96点 (↑)		
65点	90点 (↑)		

点数向上という結果から、教育システムとして一定の効果が期待できる

考察・課題

考察	指導後の点数が指導前の点数を大幅に上回っていること、マニュアル内容に沿った教育をしていることから、 教育システムとして一定の効果が期待できる
課題	指導はマニュアルの内容の一部しか講義できていなかったり、間違ったコード例を示したりしていた。 解決策として、 教師の回答に誤りがないかをチェックさせる機能を実装 することが考えられる